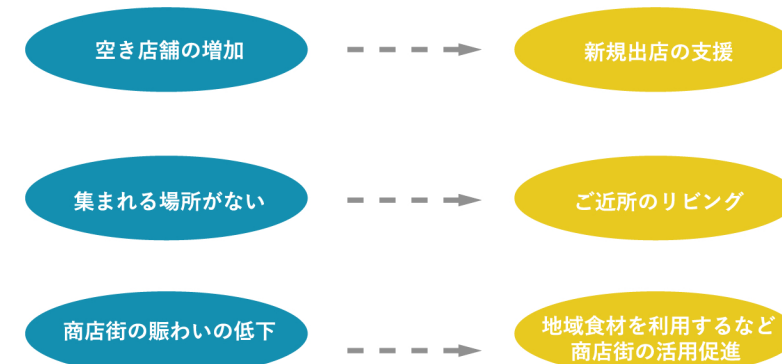




賑わいを作るセカンドキッチンの仕組み



商店街の中心にあった空き店舗を活用

Ｌ字型のカウンターがまわるキッチンを奥側にまとめ、手前には最低限の設えとして床にサインだけを記した。路上のように、仮設的に置かれる物で空間を作ること内と外の隔たりを無くし、通りを歩く人が自然と立ち寄り場所を作った。

地域を育む セカンドキッチン

日替わりカフェや料理教室を開けるシェアキッチンを商店街の中に作った。買い物帰りに気軽に立ち寄ることができ、また地域の食材も揃う事で、これから開業したい人に向けたチャレンジショップとしても機能する。空き店舗が増える商店街にとって、地域の新たな担い手や人の繋がりを作る、みんなのセカンドキッチンである。

